

エコチル どすえ かわら版

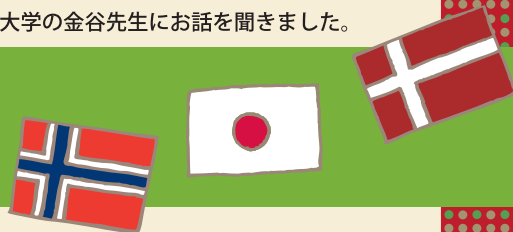
Vol.9

エコチルどすえかわら版はエコチル調査京都ユニットセンターと京都・長浜・木津川の参加者の皆さまを繋ぐ会報誌です。

2015年12月15日に東京の国連大学でエコチル調査国際シンポジウムが開催されました。どんなシンポジウムだったのでしょうか。京都大学の金谷先生にお話を聞きました。



第4回エコチル調査 国際シンポジウムが開催されました



エコチル調査国際シンポジウム、私も申込みました！久しぶりの東京は、ドキドキします。

えこさん あ、金谷先生！先生も来られていたんですね。

金谷先生 こんにちは。エコさん！ゆうくん、初めての新幹線、喜んでたね。あれ？ゆうくんは？

えこさん 今日は会場内の託児サービスを利用しました。あの子ども少し大きくなってきたし、2時間半くらいなら・・・と、思い切ってチャレンジしてみることにしたんです！会場内に、こういったサービスがあると、子どもと離れる時間が短くてすむので助かります。今日は先生とご一緒にきて、とても心強いです。いろいろ教えてくださいね。

Q1 「国際シンポジウム」って日本で開催されるのは初めてなんですか？

A これまでも、東京・北九州・名古屋で開催されていて、もう4回目になるんですよ。（*詳細は環境省エコチル調査ホームページ「イベントの開催」を参照ください）今回は、再び東京での開催になったんです。

えこさん エコチル調査って、全国15地区で10万人が参加している調査だっていうことは知っていたんですが・・・。

Q2 日本だけでなく、海外でもエコチル調査のような取り組みが行われているのですか？

A エコチル調査のように、多くの人々に誕生から長期に渡ってご協力いただく医学的な調査を、一般に「大規模出生コホート（コーホート）調査」と呼んでいます。環境変化の子どもの健康への影響は、どこの国でも心配されているのよ。フランス、デンマークなど、海外でも同様の調査に取り組んでいる国々があつてね、各国のコホート調査によってわかったことを世界で共有して、子どもの健康を守るための方策を見いだそう！と、時々集まって知恵を出し合っているの。「国際シンポジウム」もその一つね。

金谷 久美子 (かなたにくみこ)

京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野研究員 内科医



内科医として臨床現場で働いていましたが、黄砂がくると娘の喘息症状がひどくなる様に感じ、本当に黄砂で喘息が悪くなることあるのか、はっきりさせたいと思いました。米国の大学で疫学・統計学を学び、帰国後、喘息小児において、黄砂飛来後に入院リスクが上昇していることを示しました。

現在、黄砂やその他の大気汚染物質の、妊婦や子どもへの影響をみるコホート調査を、エコチル調査京都ユニットセンターの追加調査として実施中です。

どうしてアレルギーが増えているのか、原因を明らかにする過程に少しでも参加できたら、そしてそれが、これから生まれてくる子どもたちのアレルギー発症予防につながったら、こんな幸せなことはありません。

Q3 シンポジウムでは、どんなお話があるのでしょうか。

A 過去の国際シンポジウムでは、ドイツや米国、フランスの取り組みが紹介されましたが、今回はノルウェーとデンマーク、そしてアジアの複数国が共同で行っている調査について、その概要が紹介されるんです。

ほら、WHO（世界保健機関）の環境保健部長が登壇されました。「最近の地球環境の変化と子どもの健康について」の講演が始まりますよ。

後半は、13年間と長く続くエコチル調査を継続していくには、どのように情報発信していけば良いかについて、様々な角度から議論が展開されました。米国の環境省の方が、思わず会場に語りかけてたね。「疲れてくることもあると思う。でも、世界があなたをみてる（応援してる）からね」って。京都へ帰ったら、参加者さんに伝えないとね。

あ、エコさん。心配しないで。ここからは、通訳がありますよ～

日英同時通訳



Q4 京都からの発表も行われたのですか？

A これは、環境省や各ユニットセンターによるポスター展示です。詳細調査の実施状況やイベントの内容紹介が報告されていますね。ほら、海外からの出席者を含め、多くの方が興味深そうに立ち止まって眺めておられますね。私たち京都ユニットセンターは、「追加調査」の実施状況をポスターにして展示しました。京都地区で半数の方に協力をお願いしている「黄砂と子どもの健康調査」は、富山ユニットセンター・鳥取ユニットセンターと合同で行っているんですよ。砂漠化にともなって、砂漠の砂が大気中を飛ぶ量は増えています。黄砂も例外ではありません。我々の取り組みも、きっと世界の子どもたちの健康に貢献できると信じています。

えこさん シンポジウムに参加して、改めてエコチル調査の意義や重要性がわかった気がします。世界が目出し、その成功を願っている調査であるということ、実際に海外の専門家の方々から直接お聞きして、何だか嬉しくなりました。

金谷先生 ありがとう、エコさん。調査に参加してくださっているお一人おひとりに、「皆さんは特別な選ばれた人たちで、世界があなたを応援しているのよ」ということ、「質問票記入などのご協力はかけがえのない未来への贈り物・・・」ということを感じました。・・・あ！もうこんな時間ね。ゆうくん、お母さんと離れてがんばってくださいね。どうぞ、お迎えに行っておいてね！

先生、ありがとうございました。また京都でお会いしましょうね。



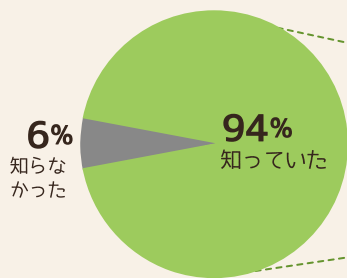


みなさまからの アンケートより

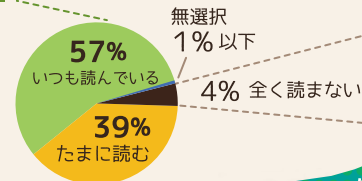
ニュースレターやHPを使った情報発信に関して

- ・アンケート受付締切日（2015年11月30日消印分まで有効）までの997通分を集計したグラフです。
- ・グラフ内の数字は小数点以下を四捨五入して表記しているため、表示上は100%にならない場合があります。
- ・文中の「皆さま」は全て「京都ユニットセンターにご登録のエコチル調査参加者の皆さま」をさしています。

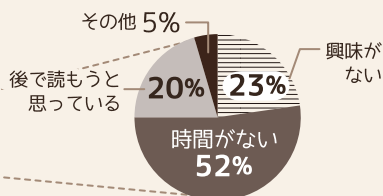
1 「エコチルどすえ かわら版」を知っていましたか？



知っていた方は、読んでことがありますか？



■ 全く読まない方の、読まない理由



ユニットセンターより

皆さまのお手元には、現在2種類の情報誌をお届けしています。

■エコチル調査だより(全国版)

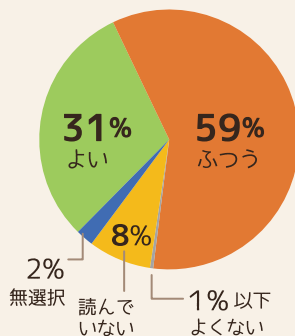
研究の成果や進捗状況を全国の参加者の皆さまへお知らせする情報誌です。年に2回程度、質問票と一緒にコアセンターより皆さまへお届けしています。

■エコチルどすえ かわら版(京都地方版)

エコチル調査京都ユニットセンターと京都・長浜・木津川でご登録くださった参加者の皆さまを繋ぐ会報誌です。イベントのお知らせや、ユニットセンターの小児科医師などのコメント、地域情報などをお届けしています。

今回は、私たちのユニットセンター独自で発行している「エコチルどすえ かわら版」についてお伺いしました。編集方法や印刷方法を改めるなど、これまで経費削減に努めてきましたが、2016年度からは発行回数も見直し、年2回を予定しております。より親しみを感じていただける紙面作りを心がけていきますので、ご意見、ご感想など、どんどんお寄せください。

2 「エコチルどすえ かわら版」の感想は？

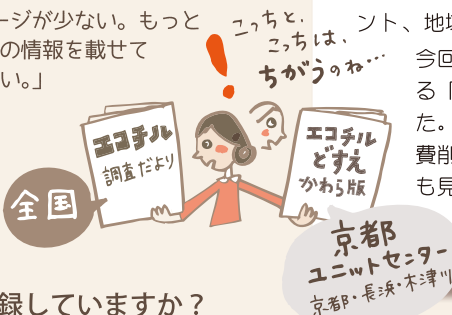


●自由筆記より●

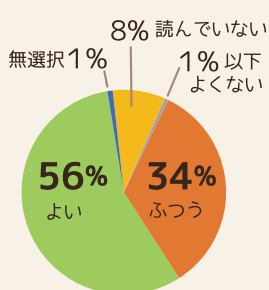
「いつもすみずみまで読んでいます。パソコン・ケータイなどに弱いので、かわら版は好きです。」

「字が細かくて内容が多いので、読むのに時間がかかる。」

「ページが少ない。もっと多くの情報を載せてほしい。」



3 メールマガジン(わくポン)に登録していますか？



■登録している方の感想

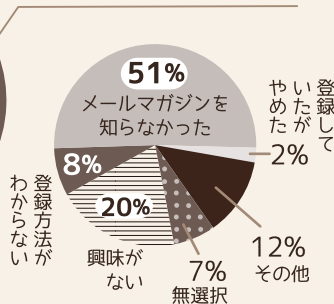
●自由筆記より●

「『子育て情報』では、季節ごとのちょっとしたトピックスを送ってくださるので、家庭や外での事故や病気などに気付かされたり、注意が向いたりしてありがたいです。」

「『ほっとひと息』は、いつも『ほっ』としながら読んでいます。祖母視点とはまた違った先輩のつぶやき、心に染みます。笑いながら、時々涙ぐみながら読んでいます。」

「読んでいて、たまにイラッとする事がある。育児で忙しくて分からない事が多くてまっているのに、『育児って楽しい』みたいなことを書かれると余計に落ち込みそうになる。」

■登録していない方はその理由



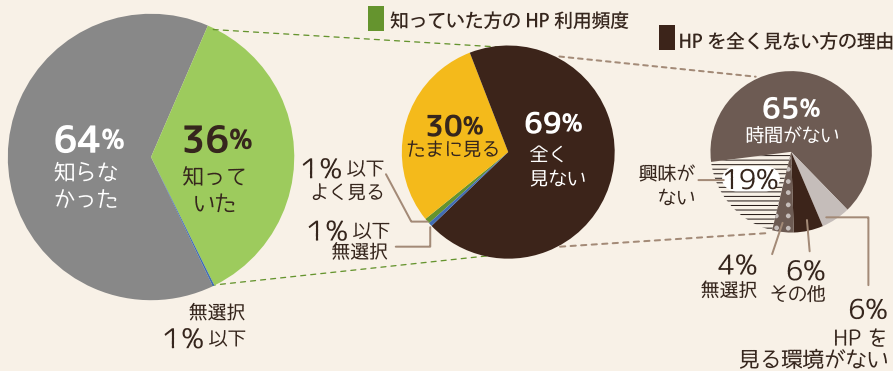
ユニットセンターより

メルマガに登録すると、2週間に1回程度、コラムが届きます。

「子育て情報」と「ほっとひと息」の2種類のタイトルでメルマガを配信しています。今回のアンケートでは、登録している方としていない方が半々でした。登録している方は概ね好意的なご意見が多く、スタッフは大変励みになりました。登録していない方や、アドレスが変わってメルマガが届かなくなった方も、この機会にぜひご登録ください。(→P6参照)

配信後、なるべく早くHPにも掲載するようにしていますので、「配信メールを受け取るのがいや」といった理由で登録していない方も、お時間のある時にHPをのぞいてください。

4 「エコチル京都」のホームページ (HP) を知っていましたか？



ユニットセンターより

2015 年秋に HP をリニューアルしました！

従来の HP は、あまり利用されていないことが伺えました。時間がないといったご意見の他に「ニュースレターだけでも良いのでは」といったご意見もいただきました。アンケート実施後に HP をリニューアルいたしましたので、ぜひご覧ください。

子どもの健康と環境に関する全国調査「エコチル調査」京都ユニットセンター

エコチルどすえ@京都

<http://ecochil-kyoto.jp/>



スマートフォン対応へのご要望も多かったため、2016 年度以降、少しずつですが切り替えを予定しています。

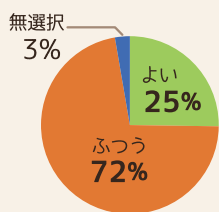
それゆけエコチルキッズ

<http://ecochil-kyoto.jp/ecochilkids/>

「それゆけエコチルキッズ」は、皆さんの投稿の場です。エコチルキッズの日々の様子を、写真やコメントで紹介してみませんか？たくさんの方からのご投稿、お待ちしております。



5 ホームページの感想は？



●自由筆記より●

「次回のイベントの日時、場所等が確認できて助かります。」

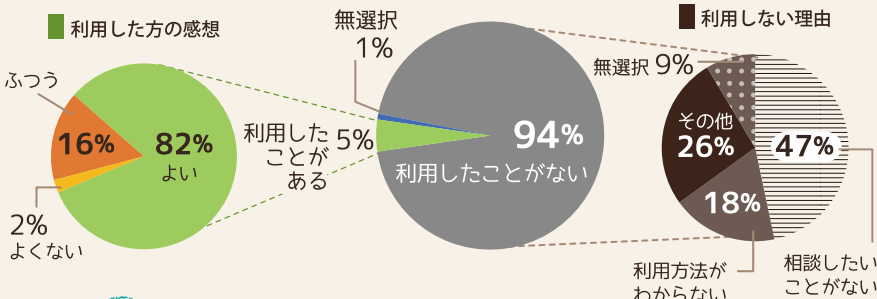
「パソコンは開ける暇がなかなかありません。紙面の方が見やすいです。」

「スマホから見ると記事に一部画像が重なり、見にくいところがあります。」

「エコチル参加者の投稿、参加しやすい内容のページがあるといいなあ。」

皆さまが参加できる催しについて

6 育児健康相談を利用したことがありますか？



🕒 予約制です

お申し込み健康相談先

前日までに電話にてお申し込みください。折り返し、詳細をご案内いたします。ホームページのお申し込みフォームからお申し込みいただけます。

【京都地区・長浜地区】
予約電話番号：075-366-7400
電話受付時間：10:00～16:30 (平日)

【木津川地区】
予約電話番号：0774-65-6066
電話受付時間：10:00～16:00 (平日)

ユニットセンターより

小児科医による無料の個別相談です。

参加者の方を対象に、小児科医が無料で個別相談に応じています。エコチルキッズの健康や発達に関して心配なことや、気がかりなことはありませんか？お気軽に育児健康相談をご利用ください。

京都地区

場所：京都大学 開催日：第1, 第3水曜日

長浜地区

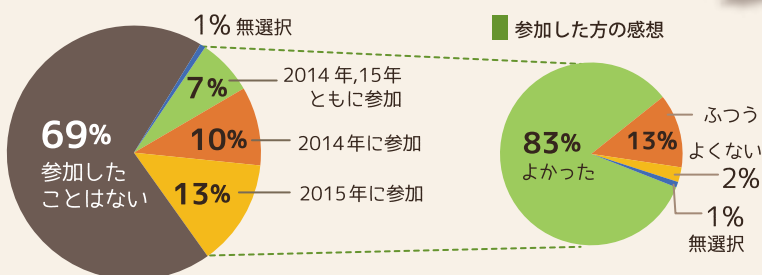
場所：長浜赤十字病院2階小児科外来 開催日：第2水曜日

木津川地区

場所：同志社大学学研都市キャンパス 赤ちゃん学術センター 開催日：第4木曜日

諸事情により開催日を変更する場合がありますのでお申し込み時は HP やお電話でご確認ください。

7 「エコチルフェスタ」に参加しましたか？

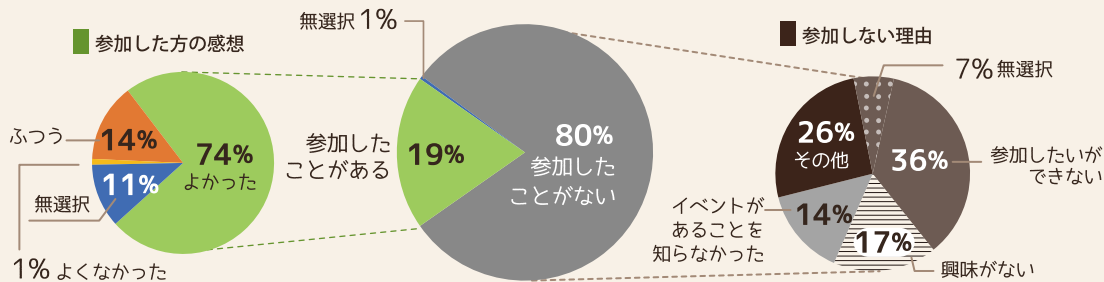


ユニットセンターより

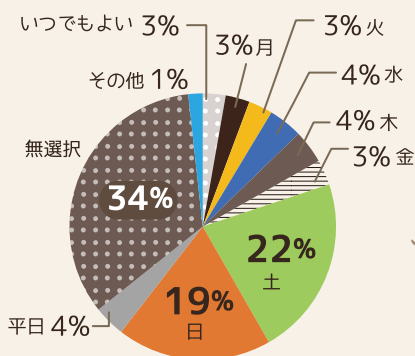
1年に一度のイベントです！

日頃から調査にご協力いただいている皆さまに感謝を込めて開催しています。同じ内容のイベントを3地区それぞれで開催しており、2014年、2015年は歌のコンサートをお楽しみいただきました。その他にも、調査で判明したことの報告やパネル展示、身長・体重測定のコナーなど盛りだくさんです。皆さまからのご意見をもとに、2016年度は開催日時や曜日等も見直し、より多くの皆さまの出会いの場となるよう、準備を進めていきます。どうぞお楽しみに！

8 各地区主催の小さなイベント(座談会、音楽会、エコチルカフェ)に参加したことがありますか？



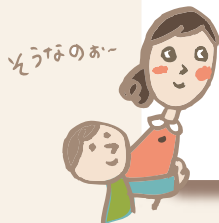
9 小さなイベント開催の希望曜日は？



ユニットセンターより

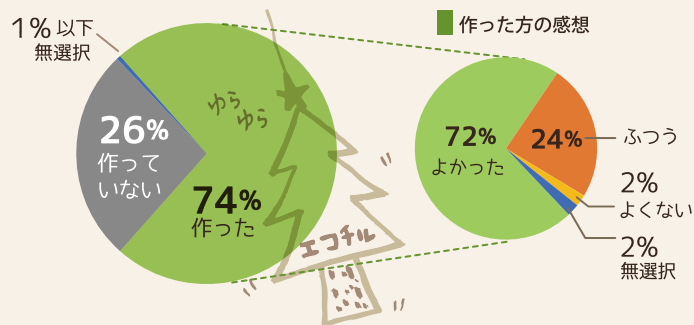
アットホームな集まりです！

京都・長浜・木津川各地区それぞれの企画として、10名～30名程度のメンバーで集まるミニ音楽会、読み聞かせ、簡単な工作などを催しています。これは、皆さま同士の出会いの場として、また、スタッフと皆さまとの交流の場として開催しています。会場では、簡単な育児相談を行っている日もありますし、質問票へのご意見も随時受付しています。これまでは平日の開催が多かったのですが、皆さまからのご意見を受け、2016年度は土曜日の開催も予定しています。エコチルキッズと一緒に、ぜひ、お気軽にご参加ください。



これまでに、お送りしたグッズについて

10 2014年にお送りしたクリスマスツリーのモビールは作りましたか？



ユニットセンターより

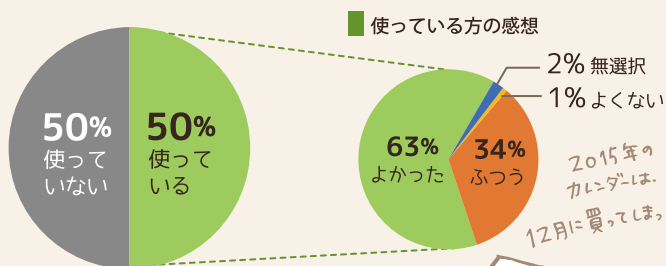
全てのエコチル参加者さんの登録を終えた2014年の冬、「クリスマスカードで1年のお礼をお伝えしよう！」ということになりました。それに合わせて何かちょっとしたクリスマスプレゼントを保護者の皆さまにお送りしたいと考えたのが、「ツリー型のクリスマスモビール」でした。アンケートの結果、多くの方が楽しんで作ってくださり、お部屋に飾ってくださったことがわかりました。2015年はサンタさんのモビールをお送りしました。2つ一緒に飾ってくださった方もあったようですね。

●自由筆記より●

「かわいいので、子どもがもう少し大きくなったら一緒に作ろうと思って保管してあります。」
 「日頃なかなか手作りのおもちゃなど作ってあげられないので、そういう機会が持てて良かったです。」
 「毎日がいっぱいいっぱいですが、季節を感じさせてくれるプレゼントが嬉しかったです。」
 「ちょっと時間がかかりましたが、楽しめました。もう少し手間が少ないと嬉しいです。」
 「かわいかったです。きちんとしまって今年も飾る予定です。立体的なモビールだったので、ねんねの子どもが興味深そうに手を伸ばしてしました。」



11 2015年3月にお送りしたカレンダーは使っていますか？



ユニットセンターより

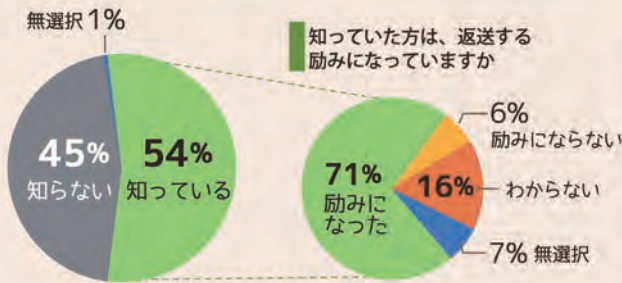
見直していきます！

「小さくて使いやすい」といったご意見もいただいた反面、「4月始まりのカレンダーは、あまりなじみがない」といったご意見もたくさんいただきました。2年間ニュースターに同封させていただきましたが、2017年度分以降は、見直しも検討しています。環境へも配慮し、無駄のない運営を心がけていきたいと考えています。引き続き、皆さまからのご意見、お待ちしております。



質問票返送キャンペーンについて

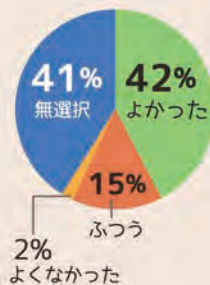
12 「質問票返送キャンペーン」を知っていますか？



ユニットセンター
より

京都ユニットセンターの質問票返送率は、ほとんどの年代で全国平均よりも高いのですが、一通でも多くの質問票を返送していただくために、京都ユニットセンター独自のキャンペーンを行っています。アンケートには「キャンペーンがあってもなくても返送するつもりなので、キャンペーンは必要ない。」とのご意見も多くいただき、皆さまのお心を知りました。しかし、2歳半以降の質問票の返送率が下降気味です。子どもの成長につれ、お仕事や様々な理由で、質問票を書く時間の確保ができにくくなられた方もおられると思いますが、「質問票キャンペーン」を思い出し、今後の回答の励みにしていただけましたら幸いです。

13 「質問票返送キャンペーン」のグッズの感想は？



●自由筆記より●

「ギフトカードに加え、素敵なグッズまでいただき申し訳なく思います。」
「思いがけず、かわいいプレゼントが届いてうれしかった。」
「まじめに返送していた甲斐がありました。」
「選べるものや、実用品の方がよい。」
「私の趣味には合わなかった。」
「毎回質問票を書くのに時間がかかって大変だけど、がんばって提出できてよかった。」

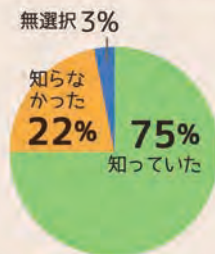
ユニットセンター
より

グッズは、6か月から2歳までの4つの質問票を返送してくださった方にお送りしています。アンケートには好意のご意見が多くあった一方で、一部の方からは他の物がよいとのご意見もありました。皆さまに同じ物をお送りすることが基本ですので、スタッフが心をこめて選び、お送りしていますが、お気に召さない場合は、お許しください。まだ、エコチルキッズが2歳になっておられない方、対象の質問票を出し忘れておられる方は、今後ぜひ4つの質問票を返送して、グッズをもらってくださいね。

「4歳の質問票返送キャンペーン」始めました！

2歳半から4歳までの4つの質問票を全て提出してくださった方にもキャンペーンを始めました。皆さま、どうぞお楽しみに。

14 質問票は遅れても返送できることを知っていましたか？



おまちしています！

皆さまのお手元に送られてくる質問票には「届いてから2週間を自安にご回答いただき、ご返送ください。」と書かれています。しかし、種々の理由ですぐにご回答できないことも、また時には紛失してしまったりすることもあると思います。2週間を過ぎててもかまいませんので、なるべく早く返送してくださるとありがたいです。紛失された場合は、下記までご連絡いただくと、再送させていただきます。一通でも多くの質問票のご返送を、スタッフ一同、首を長くしてお待ちしています。

■京都ユニットセンター TEL:075-366-7400(平日9:00~17:00)まで

ユニットセンター
より

エコチル調査全般について

●自由筆記より●

「自分の子どもたち世代に長く関わる研究・取り組みが素晴らしい、その一端に関わらせていただけるのが嬉しいです。今後に期待しています。」

「まだまだ時間が必要だと思いますが、今のようなことが調査でわかってきたのか、研究段階のものも含めて知りたいです。」

「定期的に質問票を書くことで『そういえばできていた！』という発見や確認ができるので、エコチルに参加できてよかったと思います。」

「【経費削減】はいい取り組みだと思います。エコチルノート以外にも、経費削減できる箇所は、まだまだあるような気がします。」

「イベントの案内や配布物が届く度に思います。子育てを誰かが応援してくれているのだと。自分が生まれ育った土地を離れ、周りに知人がいない中での子育てに日々泣きたくてなりますが、エコチルからのメール・案内が届く度にひとりじゃない...って思えます。」

ユニットセンター
より

これからも、よろしく
お願いいたします。

エコチル調査に対して、また京都ユニットセンターに対して、多くの方から様々なご意見をいただきました。たくさんのご意見は、調査に対する熱い期待の表れだと感じました。すべてのご意見に目を通させていただきます。私たちも多くの気づきを与えられたことを大変ありがたく思います。紙面の都合上、ごく一部の方のご意見しか掲載できなかったことをお許しください。経費削減に関しましては、皆さまのご協力を得ながら、さらに取り組んでまいります。調査の進捗状況に関しましては、コアセンターからの「エコチル調査だより」やHPなどで発信されますのでご期待ください。調査終了までは、まだまだ長い道のりです。どんなことでも、いつでもご遠慮なくご連絡いただけたらありがたく思います。私たち京都ユニットセンターは、参加者の皆さまお一人おひとりに寄り添いながら、共に歩んでいきたいと思っています。

メルマガ登録方法!



ecochil-kyoto
@wadm.jp

メルマガジンに登録しませんか?

毎月2回程度、京都ユニットセンターよりお送りするメルマガ会員になりませんか。「でも・・・どんなメールが届くのかしら?」そんなあなたのために、今年度配信したメルマガより2通をご紹介します。新規登録の方やアドレス変更のため再登録をご希望の方は、左記まで空メールを送信してください。氏名のご登録は不要です。次回の配信より、お届けします。

ユニットセンターに関わっている医師が、その季節のタイムリーな健康情報や、育児に参考になる情報を交代で書いています。

スタッフが、育児中の皆さまにほっとしていただける内容と心掛けながら、日々の生活の中で感じたり考えたりしたことを書いていきます。

子育て情報

スマホ etc と子育て -----2015年10月13日 配信

スマホ・パソコンのない生活は考えられない時代になりました。古くは「テレビと子育て」、最近では「パソコン・ゲーム・スマホと子育て」について、小児科医のあいだではいろいろな意見があります。「長時間画面を見ていることで言葉や社会性の育ちが悪くなる」など、書を心配する声の方が大きいです。日本小児科医会や米国の小児科学会は、「2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう。」と言っています。最近では、青少年のゲーム依存が問題になっていますが、ゲームをやり始めた年齢が低い方が依存になりやすいというデータがあります。

iPad や iPhone を産み出したスティーブ・ジョブズは「子どもたちにはテクノロジーの使用を制限すべきだ。うちの子どもにはまだiPadを与えていない。」と話していたそうです。ジョブズは家庭では会話を大事にし、iPad・iPhoneは大人が使うものだと考えていたのですね。

可能であれば、乳幼児は「画面」ではなく、「生身の人間」と共に、五感をフルに使って、手足をいっぱい動かして遊んで大きくなって欲しいと思います。それが母親一人のがんばりではなくて、子育てを大切にできる社会の中で実現すると良いですね。

----- 小児科医/宮嶋 智子

ほっとひと息

エコチルスタッフとして -----2015年5月11日 配信

こんなことを思いながらエコチル調査に携わっています。我が子をベビーカーや抱っこで連れ歩いたのは15年以上前になりますが、今でもよくその大変さを思い出し、外で子ども連れのお母さんを見かけるとつい要らぬ手助けをしたくなります。エコチル調査の業務では、質問票に関するお問い合わせであったり、詳細調査への参加のお願いであったり、担当者が参加者の皆様と直接お話をさせていただくなかで、お仕事を持っている方、子どもさんが何人かいらっしゃる方、初めての子育てで生活が一変した方、ほかにも何かとお忙しく大変な毎日の様子が垣間見ることがたまにあります。

結婚を機に退職後、3人の子を出産し末子の小学校入学後にやっと外での仕事を再開した私でさえ、妊娠中から子育ての真ただ中に調査に協力できただろうかと思うと、参加者のみなさまには感謝と感心の気持ちでいっぱいになります。ご協力くださっているのは、エコチル調査へのご理解と大きな期待があつてこそ。エコチル調査の業務でそのお気持ちに応えることが大切と肝に銘じ業務にあたっていますが、やっぱり外で見かける子ども連れは気になります。迷惑でなければ、おばさんのお節介は遠慮なく利用してくださいね。

----- エコチルスタッフ/S・M

イベントのお知らせ

京都【黄砂について話そう】

■3月17日(木) 北保健センター

■3月18日(金) 左京保健センター

金谷先生と黄砂についてお話ししましょう。託児はありませんが、スタッフと一緒にオモチャで遊ぶコーナーも用意しています。

★対象地区の皆さまにはイベントチラシを同封しておりますので、詳細は、そちらをご覧ください。

長浜【絵本であそぼう Book Room@図書館】

■3月10日(木) 長浜図書館

■3月17日(木) 高月図書館

・10日は小児科医による健康相談タイムもあります。

・10:00から→1~2歳対象 / 11:00から→2~4歳対象

★対象地区の皆さまには2月中旬にイベントチラシをお送りいたしました。詳細は、そちらをご覧ください。

【木津川】皆さまのおかげで、今年度の「エコチルカフェ」は2月20日に全て無事に終了しました! 次年度は・・・「カラダを動かしてみたい」「なんか可愛いもの作る!」こんなゆるいテーマですが、皆さんに楽しんでいただけるような、からだと手と頭もつかうエコチルカフェにしたいと計画中です。

★対象地区の皆さまには4月以降、案内をお送りいたします。ぜひ一度お越しください。

変更はありませんか?

住所や電話番号の変更はありませんか? お引っ越しなどで住所や電話番号などが変更になった場合は、お手持ちの「登録内容変更届」にご記入いただき、質問票等と一緒にご返送いただくか、京都ユニットセンター(木津川地区の皆さまは同志社大学サブユニットセンター Tel:0774-65-6066)までご連絡ください。

ご利用ください

【全国】エコチル調査コールセンター 0120-53-5252

----- フリーダイヤル・年中無休・9:00~21:00 -----

全国共通のエコチル調査コールセンターでは、調査についてのお問い合わせだけでなく、育児相談も承っています。

看護師、保健師、栄養士など実務経験豊かなスタッフが親身になって対応いたします。お気軽にお電話ください。

系編集後記

2月は逃げて、いよいよ3月。復職、卒園や卒業、入園や入学、転勤などにより、新しい毎日を迎えられる方もいらっしゃると思います。皆さまにより出会いがたくさんありますように。今回のニュースレターと付録の冊子は、参加者の皆さまのおかげで作成できました。アンケートにご協力くださいました皆さまに心より感謝申し上げます。



環境省エコチル調査

京都ユニットセンター

発行: 京都大学大学院医学研究科エコチル調査京都ユニットセンター
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53 分子生物科学実験棟129号室
Tel: 075-366-7400 mail: info@ecochil-kyoto.jp
ホームページ: http://www.ecochil-kyoto.jp/ 発行: 平成28年3月1日